

## 保健医療の社会的構築に関する研究

池田光穂・田口宏昭・野村亜由美  
林田康子・嶋澤恭子

本研究の目的は、保健医療システムが社会的過程を経て構築されるという近年の社会学・人類学の研究成果をもとにして、九州の島嶼社会、精神病院、ならびにアジア・ラテンアメリカの開発途上地域という異質の社会的文脈における差異と共通点に関する比較研究調査をおこなうものである。

研究代表者の池田はラテンアメリカの保健医療政策に通じておりいくつかの著作がある。田口は日本の医療制度に関する業績が多い。野村は、長崎の島嶼部で僻地医療の実態調査を続けている。林田は精神病院の作業療法過程におけるリアリティ構築の会話分析を続けている。嶋澤は出産経験の近代化についてラオスを事例に明らかにしてきた。これらの異なった領域の研究者が、社会構築論という枠組みを共有することで、実践に示唆を与える成果をあげることが本研究プロジェクトにおける期待されるアウトカムである。

上記の目的のもとに、各研究分担者は全員が会合して、それぞれ以下のような個別課題を分担し研究を進めることにした。

池田光穂（社会文化科学研究科教授）

西洋医療のグローバリゼーションと地域社会の応答に関する民族誌研究、および研究総括

田口宏昭（社会文化科学研究科教授）

近代日本における医師専門職形成過程における機能分析の社会構築論からの再検討

野村亜由美（社会文化科学研究科2年）

過疎高齢化する地域社会の表象産出の民族誌的分析

林田康子（社会文化科学研究科1年）

精神医療ディケア作業療法の相互作用分析からみる患者の社会的構築

嶋澤恭子（社会文化科学研究科1年）

ラオス共和国モンクメール系民族を対象にした出産の国家管理と近代化に関する民族誌研究

これらの個別研究の検討と総合的な討論の中で次のようなことが明らかになりつつある。

すでに研究者の間に膾炙した社会構築主義の考え方は、社会問題の構築学派的な狭義で方法的に厳密なものから、レイベリング理論や近年におけるフーコー流の社会分析における緩やかで雑多な方法論が混在した広義の領域画定まで大きな広がりをもっている。社会心理学のヴィヴィアン・バー（1995）によれば、この立場の共通項は、反本質主義、反実在論、知識の歴史的・社会的被規定性、言語遂行論をはじめとする言語論的転回以降の社会観、相互行為としての実践、社会過程への関心などに特徴づけられている。

このような傾向性を本研究の途中経過としてまとめてみると、それぞれ、医療の反本質主義的側面への関心、社会性に埋め込まれた医学的知識、近代の国民国家制度やクライアントの文化・社会構造との干渉・抵抗・交渉を通しての局所的適応形態、語りやパフォーマンス、そしてそれらを可能にしている社会的文脈における相互作用と外部に客体化された言説との照応関係への関心、医療の歴史的・社会的相対化の調査技法など、本研究に従事しているメンバーの問題意識と密接に関連していることが明らかになった。

これからの、より長期的な課題は、医療の社会分析における社会構築論の重要性を主張する共通の理論言語の探求と、そこから研究対象にフィードバックされる具体的な社会的処方箋のプログラムの開発であろう。

### 現在までの研究成果（一部）

#### 【著書・論文】

- 1) 池田光穂『新しい医療を拓く』[共著] 藤原研司編、医学書院（担当箇所：「医療人類学の視点から」 Pp. 142-150）2003年10月
- 2) 池田光穂、「帝国医療の予感—その修辞上の戦略—」、『九州人類学会報』第30号、Pp. 119-122、九州人類学研究会、2003年7月
- 3) 池田光穂、「コスモポリタン再考—医術と統治術のはざままで—」、『経済学雑誌』第104巻2号、Pp. 22-36、大阪市立大学経済学会、2003年9月
- 4) 林田康子、「情報管理としての精神医療—ダイケア作業療法を中心として—」『熊本文化人類学』第3号、Pp. 14-27、2004年2月
- 5) 林田康子、「ダイケア作業療法における相互作用—精神医療の事例から—」『熊本大学社会文化研究』第2号（本号）
- 6) 野村亜由美、「ばけ老人のいない島—過疎高齢化社会の表象産出に関する試論」『熊本大学社会文化研究』第2号（本号）

#### 【学会・研究会発表】

- 1) 池田光穂、「近代日本における未完のプロジェクト：帝国医療」、日本民族学会第37回研究大会・分科会「帝国医療の逆襲：21世紀ポストコロニーの医療を考える」、京都文教大学、2003年5月24日
- 2) 池田光穂、「コスモポリタン再考—医療と統治術のはざままで」、ワークショップ「トランスナショナルリティ研究の地平」トランスナショナルリティ研究プロジェクト・大阪大学21世紀COEプログラム「インターフェイスの人文科学」、千里阪急ホテル（豊中市）、2003年7月15日
- 3) 林田康子、「精神医療組織におけるダイケア作業療法の位置づけ」第29回日本保健医療社会学会、龍谷大学文学部、2003年5月17日
- 4) 野村亜由美、「看護における人類学実践の試み」セッションB「観ること・看ること・診ること—実践と人類学」、九州人類学研究会第2回秋セミナー、福岡県筑穂町サンビレッジ西、2003年10月26日